

〔千首和歌大神宮法樂〕橋

夜をこめて遠かた人やわたすらん霜に跡みる谷の板橋

〔詩仙堂志承集〕寄題石川大人凹凸築十二景

谿邊紅葉

竹橋

晴嵐粧染晚秋山、錦樹殷紅映碧灘、蓮社板橋霜後葉、色如彭澤有酡顏、夕顔巷空道

春林

〔八雲御抄三上地儀〕橋 竹

〔藻鹽草五〕竹橋 隅

〔大和志十一〕字陀郡關梁 竹橋 在山

〔慶長見聞集一〕江戸の川橋にいわれ有事

見しは今江戸に古より細き流れ只一筋あり○略○中此流に橋五ヶ渡せり○略○中竹をあみて渡した。○是はすのこ橋竹橋とも名付たり。

〔江戸砂子一〕竹橋 御城きづきのころ、竹をあみて玄ばらくのはしにわたされしよりの名といふ、

簗子橋

〔勢陽五鈴遺響度會郡八〕簗子橋 舊蹟聞書云 岩淵箕曲ノ未成橋ハ近比迄竹ヲ編テ其上ニ土ヲ少敷テ渡リケル故ニ簗ノ子橋ト云云、

〔名所方角抄美濃〕長橋 橋の長五町計也○中此橋は蘆す也。

〔攝陽群談七〕簗子橋 同○川

郡同所○野村南ニアリ

〔大和志十〕吉野郡關梁 簗橋 在宮瀧村跨上、

〔奥羽觀蹟聞老志八〕簗子橋

在内野崎村、近于荒屋驛、是地亦舊跡也、

四辻宰相中將